

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2011

7月号

Vol.170

毎月1日発行



特集 **復興への道**

- NPO法人創る村 ■NPO法人のんび~りすみちゃんの家
- 東松島市災害ボランティアセンター
- 名取ハマボウフウの会 ■NPO法人里山ひろば
- 被災したNPOの復興支援募金サイト～復興みやぎ～



赤い羽根「災害ボランティア・  
NPO活動サポート募金」助成事業

- トピックス/NPOで高校生の夏ボラ体験2011
- みやぎNPOプラザ/「人と街と住まい」をつなぐ団体  
事務室新入居団体の紹介  
～ゆにふりみやぎ～

# 美しい景色を取り戻す為に

## NPO法人創る村

これからどうすれば良いかを考えられるようになつたのが、震災から一ヶ月以上過ぎてからのことでした。

### 施設再開に向けて

東松島市でフリースクールと宅老所を運営する創る村は、民主主義時代に求められる人間全体の尊厳と、個人の尊厳という対極の両立をめざし、文化芸術教育の「創造」と「普及」に努めることを掲げ、平成十五年十一月にNPO法人を設立しました。

設立者で理事長の鈴屋善敏さんは、大学卒業後、学校教育に限界を感じ、関東で遊びと音楽を通じた独自の教育を実践していましたが、一九八〇年に宮城県に移り、いじめや不登校に悩む子供たちを受け入れ、音楽や遊びを通じて創造性ある子供をはぐくむ活動を行うため松島湾の野々島にフリースクール創る村を開設しました。その後、目の前に海が広がる美しい景色が見える東松島市新東名を拠点としてNPO法人を設立し、子供からお年寄りまで幅広く人が集い、教育・福祉・音楽・芸術・文化活動などを通して、一生涯を幸せに生きることができるようフリースクールや宅老所を運営しています。

### 突然の大津波

昨年、八人が入居できる宅老所と十二人が介護サービスを受けられる高齢者向け施設「老葉子(ろうりいし)の家」を新築することにしました。今年の三月に完成し、四月一日開所予定でしたが、

▼浸水した1階



震災に大規模な被災を受けた1階の床で、津波によって1メートル以上の高さまで水没しました。

敷地内の他の施設でも、フリースクールの子どもたちの為に用意されていたピアノや陶芸窯、船など多くが津波に飲み込まれ、送迎用の車も流されてしましました。

真っ黒い波が近隣の車や家を次々と飲み込んでいく中、スタッフ数名が、濁流に流されていていた女性を見つけて手をつかんで引き上げ、数百メートル先の崖の下に取り残されていた女性も船で救助しました。そして、数日間、無事だった老葉子の家の二階は、津波でけがをした方や、家や車に取り残されていた方など地域の人と一緒に避難場所となっていました。

震災後はライフルインが停止しており生活するだけで精一杯。ようやくこ

何とか寄付も少しずつ集まり始め、申請している助成金の方も手応えが見えてきましたので、建物の改修に踏み出したところです。スタッフも「自分たちができることは自分たちでやろう」と工事業者に交じって作業を手伝っています。

「老葉子の家の二階で、津波に流れ救助した人や近所の高齢者と共に過ごしたことで、事業開始前にもかかわらずスタッフの信頼関係が深まりました。それと同時に、この地域には、やはり高齢者のデイサービスや宅老所が必要だと再認識でき、何としても建物を直し再開したいと思っています」と職員の渡辺由美さんは、真剣な目で復興の決意を語ります。

鈴屋さんは「どんな困難な道であつても老人の尊厳を大切にする社会を確立する仕事をこそ今の私の使命だと思っています。必ず再開させます」と熱い想いを語っています。

東松島市でも仮設住宅の建設が始ま

つており、七月中には一、七六〇戸を完成させる予定です。創る村のある新東名地区は、避難所や仮設住宅で暮らしている方が多く、津波に耐え、スタッフや近所の方を守った老葉子の家が再開することは、地域全体の復興にも大きく関わってきます。その期待に応えようと、「必ず再開する!」という思いを秘め、毎日、スタッフや各地から来てくれるボランティアと共に復興に向けて活動を再開するため、理事長の鈴屋善敏さんをはじめ、全スタッフが募金や助成金の申請などに向けての奔走が始まりました。

浸水した「老葉子の家」の一階は、窓ガラスが壊れ、床は泥が被い、エレベーターは動かず、と被害が大きく、改修が必要となりました。建設に四〇〇〇万円以上掛かり、さらに改修費用が一八〇〇万円以上の見積り、かなり高額です。

要となりました。活動を再開するため、理事長の鈴屋善敏さんをはじめ、全スタッフが募金や助成金の申請などに向けての奔走が始まりました。

▼創る村の皆さん



**NPO法人 創る村**  
〒981-104-13  
東松島市新東名四一六一  
TEL: 02-51-88-13793  
FAX: 02-51-88-1418  
Mail: tsukunuma@ybbne.jp  
URL: <http://www.geocities.jp/tsukunuma/>



### ▲泥を被った和室

東松島市新東名で、宅老所、ディサー  
ビス、ディホーマ、グループホームと多  
角的な活動を展開していく「のんびり  
りすみちゃんの家」。老いても心身に障  
がいがあつたとしても、今まで暮らし  
てきた自分自身の家庭に近い生活を送  
ることができる環境づくりを心がけ、  
活動してきました。

三月十一日、東北地方太平洋沖地震  
が発生し、仙石線東名駅のすぐ北に位  
置する三つの施設は東名運河から押  
し寄せた津波で浸水。スタッフや利用  
者は避難所へむかいましたが、近隣の  
四ヶ所の避難所は上手く機能せず、ス  
タッフ同士も思うように連絡をとる  
ことが出来ませんでした。

活動再開へ向けて

NPO法人のんびりすみちゃんの家

運河沿いにあつた店舗はなくなり、買い物も隣町まで行かなければ難しい状況です。施設は、津波で一階は泥を被りました。グルーブホームは、再開の見通しが経つていません。比較的被害の少なかつた伊藤壽美子理事長の自宅をディサービスで利用することにし、宅老所は追つて修繕することに。泥を被った床板を、他県から集まってくれているボランティアの力で洗い流して、乾かし、再度使用できる形まで再生しました。

りのある宮城県内のNPOと一緒に開催しました。仮設住宅、避難所から十二名の方が参加したほか、近隣の方や清掃ボランティアも合わせ四二名の参加がありました。

ディサーサイズ再開を目指して建物の修繕に入っていた元伊藤さん宅は、遠方からのボランティアの助けもあって、瓦礫や泥出しなど、施設の中は片付いてきました。多い日で一日二五名程度のボランティアが駆けつけ、泊まりがけでの作業も続きました。一度ボランティアに訪れた方が、横のつながりで広がり、新たなボランティアを連れて訪れています。七月九日には、待望の「復興式」を開催する運びとなりました。

一時は気が落ち込む日が続いたこともありました。伊藤さんは、目下、ディサービス再開を目指しているほか、地域の人々が気軽にいつでも集まり話ができる、交流サロンづくりを検討しています。いつ開催すると決めるのではなく、三六五日いつでもお茶を飲み、語りあえる。この地域に住んでいた人達が戻ってくることができる場所を作る予定です。

また、グルーブホームの建物自体は津波で浸水しましたが、大きなゆがみもなく、今後は地域のニーズや利用者の方々の意見を取りいれながら、活動の場を広げていきます。



▲伊藤理事長

**連絡先** 大塚避難所で味噌汁や御浸しを届けたり、地域で必要なものを提供するため奔走しましたが、震災から三ヶ月がすぎ、少しづつ、着実に復興へと向かって動いています。

地域交流サロンづくり、  
そして復興へ

連絡先  
NPO法人のんびりすみちゃんの家  
〒九八一〇四一三  
東松島市新東名四丁目十一一十四  
TEL:〇二二五一八八一一六九一  
FAX:〇二二五一八八一一九三八

#### ▼登録テント内部



家財の清掃している東京にて、以下、ボランティアセンターは、東松島市矢本の保健センターに三月十九日に開設されました。混乱の残る現地の状況あり、当初は東

ボランティアを派遣

東松島市の人口は、およそ四万三千人。今回の被災地の中でも大きな被害を受けた地域の一つです。死者・行方不明者合わせて一、二七一人(六月十七日現在)、家屋の全壊が一、一三三戸以上、半壊破損が四、一六〇戸と被害が大きく、いまだ一七〇〇人を越える人々が市内四七か所の避難所で生活しています。

被災者の心配事は様々ですが、半壊家屋の方などは、その修復が以下の課題です。その大きな力となっているのが、ボランティアの皆さんです。

# 東松島市民を支える ボランティア活動

ボランティアの人数は、ゴーラデン・  
ウイークにピークを迎えると予想され  
ていましたが、その後の五月二八日(土)  
に過去最高の一、一〇七人が活動し、ブ  
ログやツイッター、各種情報誌での情  
報発信、リピーターによる口口などボ  
ランティアセンター事務局の努力が実  
を結び、予想以上の成果を産んでいます。  
ボランティアセンターでは、ボラン  
ティアを活動場所まで車を使って移洋  
していますが、慢性的に車が足りず、往  
き時間が出来てしまることが問題でし  
た。そこで、特に被害が大きくニーズが  
集中する地域には組織として活動す  
るボランティアの団体が直接現地に入  
り、活動できる「サテライト運営」の仕  
組みをつくりました。サテライト運営  
により、大幅に待ち時間などが改善さ  
れ、大曲や赤井といった被害が大きか  
った地域でも、家の中の泥だしをする  
時間が増え、ボランティアが入る優先  
順位としては後回しになる側溝の泥だ  
しも大部分が終了し、きれいな街並み  
が戻ってきました。



▲本間達也さん



#### ▲きれいになった街並み

ただ、「運営スタッフは役割上、長期滞在が必要で、長く滞在するほど役割も大きくなり、簡単に抜けることができなくなります。助成金なども、書類作成の手間や、支払われるまでの時間を考慮すると利用しにくいので、長期滞在するボランティアを支える仕組みがあるといいのですが：」と神奈川県から一ヶ月以上個人ボランティアとして運営スタッフに参加している本間達也さんは話します。

ボランティアセンターは、全国からのボランティアを受け入れています。事前に東松島市災害ボランティアセンターのブログを確認し、最新の情報を得てからボランティアセンターに申し込んでください。

六月に入り、ボランティア参加者は、特に平日を中心減ってきています。まだ終わっていない。被災地を忘れないのでほしい。」と、本間さん。

仮設住宅を含めた地域のコミュニティ作りや被災者の心のケア、雇用・就労の創出など、専門性と継続性が必要なものへ変わっていくと予想します。六月末までボランティア要請が詰まっていたほか、七月以降も市民からのニーズが継続すると予想されることから、「すぐにボランティアセンターを閉鎖する」とはせず、市民のニーズを支えながら復興支援センターへと役割を変えていくことになるのではないかと話す。

また、今までボランティアの手が入りにくかった鳴瀬地区の牛網や新東名にも六月に入りサテライトを開設し、より細かなニーズも拾えるように活動を展開しています。

ボランティアセンターの阿部英一セントラル長(市社会福)



▲VCセンター  
門脇さん

まだボランティアが必要

**東松島市災害ボランティアセンター**  
〒九八一-一〇五〇三  
東松島市矢本字大溜九一  
TEL:〇二〇五一八三一五〇〇一  
FAX:〇二〇五一八二一九八一三  
災害臨時携帯:〇八〇一五九四九一七三九六  
E-M-A-I-L:a-eiichi@shakyo-higashimatsushima.or.jp  
ブログ..<http://msv3151.c-bosaijp/group.php?gid=10180>

# 津波に耐えたハマボウフウ

## 名取ハマボウフウの会

浜の再生へ

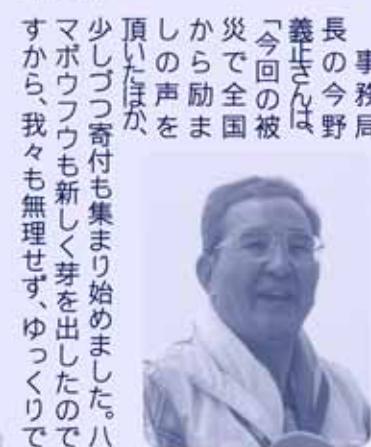
津波被害の甚大だった名取市閑上地区。九つの大津波が、閑上浜から貞山堀を越えて、多くの家や建物を押し流し、壊滅的な被害となりました。閑上浜には名取川河口から海岸沿いに約二キロに亘って松林が広がっていましたが、津波で根っこから流されています。その閑上浜で海岸再生を願い、ハマボウフウの若苗移植会が開催されました。



▲ハマボウフウの花



▲立て看板



▲今野さん

津波被害の甚大だった名取市閑上地区。九つの大津波が、閑上浜から貞山堀を越えて、多くの家や建物を押し流し、壊滅的な被害となりました。閑上浜には名取川河口から海岸沿いに約二キロに亘って松林が広がっていましたが、津波で根っこから流されています。その閑上浜で海岸再生を願い、ハマボウフウの若苗移植会が開催されました。

▼大橋さん



会長の大橋信彦さんも津波で家が流され、被災しています。避難所

暮らしをしていた大橋さんは、四月上旬、閑上浜のハマボウフウ保護区に行って見ました。すると大津波で壊滅したものと思っていた砂浜に、泥をかぶつて変色しながらも、しっかりと芽を出しているハマボウフウを見つけました。「自然の回復力と生命力の強さに感動しました。」と大橋さん。

六月十八、十九の両日、名取市内で「ふるさと海辺フォーラム」を開き、全国から十二団体が交流しました。二日目の十九日には、閑上海岸のハマボウフウ保護区で、津波で流れ立たれて看板を建て直し、除幕式を行いました。また、津波の被害を受けながらも残っていた、畑で育ていた若苗二〇〇株を浜の保護区内に移植しました。被災しながらも今回のフォーラムを開催した意義を大事にして、やっつとハマボウフウの会は、少しづつ動き出しています。

▼閑上浜で若苗移植会



連絡先  
名取ハマボウフウの会  
TEL: 090-17066104  
大橋

すが活動に取り組んで行きたいと思います。」と話しています。保護区を越えて閑上浜全体にハマボウフウが群生する日をめざして、新たな一步が始まります。

## 野菜づくりで気分転換

NPO法人里山ひろば

宮城県最南端に位置する山元町は、東北の湘南とも呼ばれ広い海岸線とあらかな気候が特徴的です。この地

穢やかな気候が特徴の町です。この地にも三月十一日に大津波が押し寄せ、多くの人命が失われました。今なお避難所や仮設住宅暮らしをする人が多々います。

角田市との境にある浅生原地区の里山を拠点に活動する(特活)里山ひろばは、自然体験や地域住民の交流事業を行っている団体です。今回の震災では会員の家が流されたり、家族が亡くなるなどの被害がありましたが、「自分達以上に被害の大きな、地域の被災者のためにできることはないか?」と発災直後から協議を重ね、支援を続けときました。

太陽のもとで元気に



▲ピニールハウスで参加者の質問を聞く

つきました。そこで「太陽のもと野外活動をすることで少しでも元気になつてもらいたい」と考え、今後の活動の柱にしようと昨年から整備を進めてきたクラインガルテン(市民農園)十五アールを、無償で貸し出すことに。

「野菜作りで気分転換しませんか?」  
とチラシを作り、市内二か所の避難所に出向いて避難者に声を掛けたり、避難所にポスターを張り出して参加者を募りました。四月三〇日には参加希望者向けに説明会も開催しています。

市民農園は心の拠り所

“里山ひろば野菜ガルテン”と名付けた市民農園は、各人約六〇m<sup>2</sup>区画で、思い思いの野菜や植物を育てています。いつまでも野菜を育むよかったです。

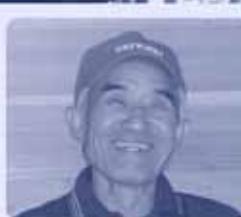
や鋤などの農機具は常に自由に使うことができ、肥料なども無料で使えるよう設置されています。六月には今後に予想されるイノシシの防除のため電気柵も取り付けました。また、日頃より農業経験者の二名の講師が農園を見回り手入れをしたり、土曜日には指導会も開催しています。

参加者はここに来るよくなつて元気になつた」「狭い仮設住宅は身動きがとれない。広々とした青空の下で作業ができて幸せ」「植物は手をかけると、それに応えてくれてかわいい。命あるものを育てることで気力が湧く」「こうして新しい仲間ができ、情報交換などをすることが楽しい」など、一様に市民の農園での作業を喜んでいます。「山元町だけではなくもつと

連絡先  
亘理郡山元町浅生原  
字下宮前七六一一六八  
TEL・FAX・○二三三-三七〇二六  
SNS・<http://kasi.blogzine.jp/>



### ▲3団体の活動拠点



▲理事長の佐藤勲さん

活動の拠点となる浅生原地区の里山は自然の恵みの宝庫です。日頃より地域住民向けに自然体験のイベントなどを開催し、五月には被災者向けに無料のタケノコ狩りを開き好評を得ました。「被災者のみなさんは地域を支える仲間です。一日でも早く体力気力を回復して、ともに山元町の復興のために力を合わせてもらえたたらと思っています。私たちは皆さんが少しでも元気になるよう支援をつづけていくつもりです」と理事長の佐藤勲さん。クチコミで評判を聞いた方から市民農園への参加希望が多く、今後は場所を増やすことを検討しています。

被災地に「ういつたことが広がれば  
よいと思います」という声もあります。  
今後、秋にはキノコ狩りや収穫祭、餅  
つきなども計画中です。

# 復興みやぎ

## ～被災したNPOの復興支援募金サイト～ を開設します！

杜の伝言板ゆるる（以下、ゆるる）は、活動場であった施設の流出や倒壊、スタッフや利用者の被災などのほか、それらの被害はないものの利用者激減による運営破綻が心配され、四月に高齢者や障害者支援事業者であるNPO一一三団体に対し、この分野のネットワーク団体と協同で、緊急に活動状況調査を実施しました。五一団体からの回答を得た結果、その内二二団体が施設の被害があり、建替えや大規模修繕、移転、百万円以上の補修など被害が大きい団体は十団体もありました。

また、利用者減などの間接被害があつた団体は、四二団体に上り、特に五〇%以上収入が減つてしまつた団体が九団体もあります。

被災したNPOを訪問し、今後の事業展開の意向を確認したところ、震災の影響から事業を休止している団体も含め、どのNPO法人もすべて、再開する意思がありました。

しかし、流出や全壊した施設にかけた資金の借入金があるほか、これから新築したり、修繕したりする資金繰りは厳しく、途方にくれている状況でした。

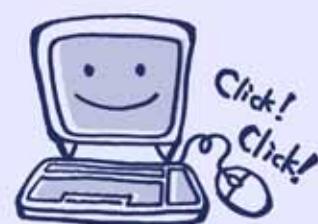
そこでゆるるとしては、できる限りの資金情報を伝える一方、助成金申請のアドバイスをしているところです。

### 寄付を集めよう！

助成金は、これから活動で明確な金額が出ているものに対し、資金が提供されることが多い、今回のように負債や損失に対しては難しい状況にあります。特に津波で町の多くが被災している地域に関しては、その土地に施設を建てられるかどうか、自治体の方針が決まらない段階では動けないという問題もあります。

支払は迫る一方、事業は再開できないという事態に、ゆるるは該当するNPOへの寄付を募るサイトを立ち上げ、被災したNPO法人の復興支援を行いました。

日本NPOセンター、市民社会創造ファンド、日本フィラソロビーアー協会、資金助成を受けて、とりあえずの一年間、サポートしながらNPOの復興をめざしていきます。



問合せ  
NPO法人杜の伝言板ゆるる  
TEL: 03-7919-3333  
Mail: npo@yuruuru.com  
URL: http://www.yuruuru.com

「被災したNPOの復興支援募金サイト～復興みやぎ」  
<http://fukkou-miyagi.jp/>

NPOの窮状を受け止め、募金活動にご協力ください！

Click! Click!

# NPOの災害ボランティア募集

## 被災地での看護職・介護職等のボランティア募集

(社福)東北福祉社会、宅老所・グループホーム全国ネットワークなどと一緒に、「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」を立ち上げました。一緒に活動してくれる介護スタッフ等を募集しています。

### ●募集職種と活動先:

- 1)介護職・看護職…介護施設や在宅介護サービス事業所など
- 2)生活支援コーディネーター…避難所や高齢者宅などへの訪問、地域サロンの実施、被災家屋の片づけなど
- 3)事務局コーディネーター…ニーズとボランティアの調整
- 4)送迎ボランティア…仙台一石巻、石巻市内、仙台一仙南の派遣ボランティアの移送  
※運転業務経験者を歓迎。また、送迎で使う車両(ワンボックスカー)の協力をお願ひします

### ●募集主体:東北関東大震災・共同支援ネットワーク

●連絡先:国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」  
(特活)全国コミュニティライフサポートセンター)  
〒981-0936 仙台市青葉区千代田町1-13  
TEL:022-301-8820 FAX:022-301-8821  
携帯電話:080-1651-6420 E-mail:kyoudoune@gmail.com  
URL:<http://www.clc-japan.com>

## 宮城県復興支援ボランティア募集

### ●活動内容:(常時活動)

★物資搬送・避難所におけるヒアリングボランティア  
(自家用車を使用し(ガソリン自己負担)避難所に物資搬送し、搬送時において近隣に新しく開設した避難所や個人宅において困っている人がいないかどうかヒアリングする。また、当団体のプロジェクトの説明を行い意向を確認する等)

★ITスタッフ(写真の整理、パソコンデータ作業)  
(土日のみ活動)

★子ども広場ボランティア

(支援要望があった時のみ活動)

★炊き出しボランティア

### ●活動期間:1日~1ヶ月以上

●応募資格:1)平成23年4月1日現在、満15歳以上高校生以上の方で心身共に健康な方  
2)上記ボランティア業務に理解があり、上記活動に関心のある方

### ●その他:1)交通費・食事・宿泊、保険等すべて自己負担

※但し時間・期間により宿泊、食事応相談

2)被災地までの交通手段については各自で対応

※ただし、自分で行けない場合は要相談

### ●募集人数:50名(個人・団体)

●申込方法:名前、住所、電話番号(携帯可)、性別、生年月日、FAX・メールアドレス(お持ちの方)を明記の上、E-mail、FAXにて下記まで申込

※上記申込方法が出来ない方は、電話連絡にてご確認下さい

### ●募集主体:東日本大地震復興支援市民活動ネットワーク

●連絡先:〒249-6799 神奈川県逗子市逗子6-1-3 逗子郵便局留め  
東日本大地震復興支援市民活動ネットワーク宮城 間邊利恵 宛  
TEL:080-4353-7373(ボランティア担当:間邊(まなべ))  
※平日は17:15以降でないと電話には出れませんのでご了承ください。  
FAX:046-827-8754  
E-mail:bora.miyagi@gmail.com

## 被災現場でのボランティア募集

これまで、行政や自衛隊の支援が行き届かない民間の小さな避難所(個人宅)を見つけ、物資を届けることを行ってきましたが、被災現場での支援内容が変化し、多くの人の支援が必要になっています。

石巻一女川一南三陸一気仙沼一陸前高田方面の被災現場で、ボランティアを急募集しています。

### ●活動内容:

ア)泥(津波)の掻き出し掃除などの、体力仕事

イ)泊まり込みでの炊き出し、ボランティアセンターの開設、子どもの勉強のお手伝い、地域の人たちとの交流、指圧・マッサージ、被災者のメンタル面での支援などの人対象の支援

※7:30と19:30にミーティングがあるので、どちらかから参加していただけると活動に早く参加できます

※暖房のない体育館にシュラフで寝泊まりする、下記現地本部まで自力で往復できるなど、ある程度タフでないとまらない面もあります。内容と現状をご理解のうえ、お申し込みください

## 東日本大震災復興支援ボランティア活動 参加者募集

子ども育成支援協会では、震災直後から、被災地の子どもの育成危機に目を向け、子どもの教育現場を援助しようという事で、勉強ボランティアを始め、日本各地から学校用机と椅子を集め再生し、被災地に送るという活動をしております。

現在は教育現場への緊急援助、仮設住宅等に移り住む方に日用品などを届けるボランティア活動を行なっています。そこで、当協会ではこの東日本大震災復興支援に熱意とボランティア精神を持って、我々と一緒に活動して下さる方を募集します。

### ●活動内容:★主に日用品支援ボランティアとなります。

日本全国から支援物資を集め、場合によっては、現地へ行つて実際に被災者の方の日用品支援をして頂きます

### ●活動期間:空いた時間を利用し継続的に出来る方

### ●応募条件:東北支局(下記連絡先参照)まで通勤可能な方

または車を用意できる方(燃費など費用負担はご自身でお願いします)

### ●待遇:交通費・食事・宿泊、保険はボランティアの自己負担

### ●申込方法:下記連絡先まで申込(E-mailも受け付けます)

### ●募集主体:(特活)子ども育成支援協会

### ●連絡先:東北支局 〒984-0042 仙台市若林区大和町1-3-3-301

TEL:022-762-7790 FAX:022-762-7791

携帯:090-1793-2452(担当:カナウチ)

E-mail:npo-kananuchi@kodomo.jp.org

URL:<http://kodomo.jp.org>

※勉強ボランティアについては<http://kodomo.jp.org>をご覧ください

## ReRoots(リルーツ) 被災地ボランティア大募集!

ReRootsとは、3・11東日本大震災で仙台市青葉区川内コミュニティセンターに避難した学生と住民で作った「震災復興・地域支援サークル」です。若林区内七郷にボランティアハウスを作り、復旧から復興まで中長期に支援します。

### ●活動内容:★被災地支援 ★若林区で被災農家支援

★ボランティアハウスを拠点に地域おこし

●活動日時:毎週土日+行きたい時はいつでも可 1日だけでも大丈夫です。

●対象:男性でも女性でも、どなたでもOK

●申込方法:興味を持った方は下記連絡先までどうぞ

●募集主体:震災復興・地域支援サークル ReRoots

●連絡先:E-mail:reroots311@yahoo.co.jp

URL:<http://reroots.namaki.jp/> ブログ:<http://reroots.blog.shinobi.jp/>

## 東日本大震災における被災者支援・復興支援ボランティアの募集

今回の震災は未曾有の規模であり、復興には非常に長い時間を要するため、長期に渡る継続的な支援が必要とされています。そのため、POSSEでは、若者を中心に、若者の手で、復興支援のボランティアを長期間に渡っておこなっていく予定です。今回の震災復興に同心を持ち、ボランティアとして参加して頂ける方のご連絡をお待ちしております。

### ●活動内容:★仮設住宅・見なし仮設への引っ越し支援

★被災学生への就学・就労支援

★被災地における生活相談、労働相談

★被災地の実態調査、政策提言

### ●募集主体:仙台POSSE

●連絡先:〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3

仙台市市民活動サポートセンター気付

TEL:022-266-7630 E-mail:senda@npo-posse.jp

URL:<http://sendai-posse.com/>

### ●活動場所:石巻、女川、南三陸、気仙沼、陸前高田方面

活動の際は、RQ(レスキュー)市民災害救援センター東北現地本部(登米市東和町米川字寺内31番地 旧崎淵小学校体育館内)に直接行っていただく事になります

●申込方法:タイトルに「佐々木豊志あてボランティア参加願い」と書いて以下のアドレスにお問い合わせください

●募集主体:RQ市民災害救援センター(日本エコツーリズムセンター内)

●活動団体:NPO法人日本エコツーリズムセンター くりこま高原自然学校

●連絡先:RQ東北現地本部 E-mail:rqtome@gmail.com

URL:<http://www.rq-center.net/>

## 災害ボランティアセンター情報

### 名取市災害ボランティアセンター

泥出し作業等の「復旧活動」については、7月1日以降、週2回(金曜日と土曜日)のみ行います。なお、災害ボランティアセンターは、月曜日から土曜日(日曜日は閉所)まで通常に開所し、生活支援、仮設住宅等の見守り、相談や支援団体等のコーディネートなどの業務を行います。また、ボランティアの受付方法は事前登録制となり、依頼内容に応じてセンターから連絡した方のみ活動する方法になります。

#### 【ボランティア活動希望者の登録】

電話か直接センターへ来所のうえ登録願います。  
TEL: 022-784-3040  
022-784-3029

◇受付時間 月曜日から土曜日の午前9時～午後4時

#### 【活動日の集合時間・場所、活動時間】

\*集合時間 午前9時頃  
\*集合場所 名取市災害ボランティアセンター  
(名取市民体育館内)  
宮城県名取市増田字柳田250番地

\*活動時間 午前9時～午後4時の間で依頼  
内容に応じた時間

### 亘理町災害ボランティアセンター

ボランティアの依頼受付件数が減少傾向にあることから7月11日(依頼受付分)をもって災害ボランティアセンター活動は縮小することになりました。

受付したすべての活動終了後に、本部を社会福祉協議会の事務所に移し、亘理ささえあい

センター「ほっと」として新たな活動を開始いたします。

なお、7月31日頃までは、受付けした屋内外の泥出し作業等を行いますので、引き続き県内外のボランティアを募集します。

亘理郡亘理町字旧館62-1

TEL: 080-4076-1906

090-6853-1097

※県外のボランティア受け入れOKです。

《県外の方専用の問合せ先》

TEL: 080-5949-7719

問合せ時間 8:30～18:00

### 多賀城市災害ボランティアセンター

ボランティアが対応できるニーズは収束しつつありますが、仮設住宅等が完成しつつあることから、新たな生活環境となる仮設住宅入居者等の生活支援(孤立防止等)を実施するよう7月12日から「多賀城市社協復興支えあいセンター」と名称を変更。

7月11日まで、県内ボランティアの募集・受付し、7/11をもって終了。

多賀城市災害ボランティアセンター／多賀城市社協復興支えあいセンター

多賀城市中央2-1-1

(社会福祉協議会2階)

TEL 080-5949-7501



## NPOの震災電話相談

### ●相談電話番号:022-718-4343

### ●相談日:毎日24時間

### ●主催:(社福)仙台いのちの電話7

●連絡先:〒981-8691 日本郵便仙台北支店 私書箱26号  
TEL:022-718-4401 FAX:022-718-4431

### 認知症に関する相談

認知症の方への接し方、徘徊時の対策、上手に受診させるには…など、お困り事、お悩み事をご遠慮なくご相談ください。

### ●相談電話番号:022-263-5091

### ●相談日:毎日9:00～16:00

### ●主催:公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部

●連絡先:〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4  
宮城県社会福祉会館2階  
TEL/FAX:022-263-5091  
URL:<http://www.miagisbu-al.org/>

### 震災対策相談電話

マンションの復旧、復興、快適な居住環境の再確立に向けて、震災対応相談専用電話を開設しました。建物・設備・敷地の被害判定、安全確認は?被害克服に果たす管理組合の役割とは?復旧の手続きは?など、震災に関することは何でもご相談ください

### ●相談電話番号:022-398-3021

### ●相談日:毎日10:00～16:00

### ●主催:一般社団法人 宮城県マンション管理士会

●連絡先:〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央5-21-6-103  
TEL:022-218-2003 FAX:022-373-5772  
E-mail:[miagimk\\_jmukyoku@miagimk.com](mailto:miagimk_jmukyoku@miagimk.com)  
URL:<http://www.miagimk.com/>

### 子育て応援「ママパパライン仙台」

子育ての悩みや不安な気持ちを話してみませんか?「ママパパライン仙台」は、先輩ボランティアが受け止める子育て応援電話です。

### ●相談電話番号:022-773-9140

### ●相談日:毎週金曜日 10:00～16:00

### ●主催:(特活)せんだい杜の子ども劇場

●連絡先:TEL:022-375-3548

### 心のピアサポート相談電話を開始します

皆様からお電話でのお話を傾聴することが中心で、専門家ではない私たちから「ああしたらよい、こうすべきだ」と申し上げることは多くないはずです。しかし、アドバイスを求められた場合には、拙い私たちの経験からお話しすることがあるかもしれません。

心が壊れそうなときこそ、私たちは一人ではない絆があるのだということを思い起こすべきでしょう。頑張り過ぎず、しかし決してあきらめず、ともに一歩一歩前進していきましょう。

今回の電話相談では、震災後における「心の悩み」を主に行い、傾聴を旨としたカウンセリングや適切な精神医療保険福祉情報を提供することによって、精神しうがいの再燃、再発、精神しうがいの予防、エンパワメント、精神しうがい者の権利擁護に寄与することを目的とします。

### ●相談電話番号:022-308-6067

※電話料金は相談者の負担

### ●相談日:月～土曜日 10:00～16:00

### ●主催:宮城精神しうがい者団体連絡会議(宮精連)

心のネットワークみやぎ

### 女性の悩み災害時緊急ダイヤル

避難生活で抱えている困りごとや単身の女性や母子家庭の抱える生活上の不安、親や親族との突然の同居による介護や世話など、女性が抱えるさまざまな悩みの相談に女性スタッフが対応します。一人で悩まず、ぜひ相談してください。

### ●相談電話番号:022-224-8702

### ●相談日:月～土曜 9:00～15:30 (日曜日、祝休日を除く)

※7月23日終了予定

### ●主催:(財)せんだい男女共同参画財団/仙台市

●協力:ハーティ仙台(仙台女性への暴力防止センター)

### 仙台いのちの電話

仙台いのちの電話は震災後、毎日24時間態勢でご相談をお受けしております。この度の東日本大震災に遭われた方も、つらい思いをひとりで抱え込まず、いのちの電話へどうぞお話し下さいますよう…お電話お待ちしております。

# 困っていませんか? ☹

## 東日本大震災「こころのサポートルーム」

復興支援活動のサポート拠点となっている仙台市市民活動サポートセンターにおいて、被災者および救援支援者のこころのサポートを行っています。面談をご希望の方は下記電話での予約も可能。そのまま電話での相談にも受け付けます。※秘密は厳守いたします。

- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター7階
- 時 間:木・金・土曜日 10:00~16:00
- 参 加 費:無料
- 主 催:(特活)仙台交流分析協会
- 連絡先:こころのサポートルーム TEL:022-265-0441

## 「カウンセリングスペース こころの杜」

今回の震災を受け、日々実践してきたカウンセリングの力を被災者の方の心の支援に生かそうと立ち上げた団体です。多方面な分野で活動してきたメンタル・カウンセラーがお話しをお聞きします。共に泣き笑しみを共有し、お話しの終りの方では、少し笑いも共有しましょう！

- 日 時:毎週土・日曜日 10:00~17:00  
毎週月・木曜日 10:00~17:00  
※相談者の人数・面談時間・カウンセラーの都合状況により調整する為、予約制になります  
※要望があれば、避難場所に出向いての傾聴にも対応します
- 継続期間:今年9月末迄、又は1年間の期間限定で考えています
- 場 所:仙台市市民活動センター5階 交流サロン
- 参 加 費:無料
- 主 催:カウンセリングスペース こころの杜
- 連絡先:TEL:090-7931-1129(徳島)、022-235-1804(兼FAX・留守電)  
E-mail:mtokushima@amsodne.jp  
URL:<http://kokoronomonijmdo.com/>  
※電話の受け付けは9:00~20:00になります
- 活動支援カウンセラーも募集しています  
被災者(我々も含め)の生活再建には、長期間の支援が必要になります。少ないメンバーでは、十分な対応は不可能です。カウンセラーの皆さんのご協力をお願いします。

## 障がい者の皆さんへ 生活で困っていませんか? 何でもご相談ください。

今回の震災で困っている障がい者の皆さんを支援したいという全国の障がい者団体から支援を受け、活動を開始しました。困っていることがあれば、私たちのところまでご相談ください。また、困っている障がい者の方などをご存知の方は、こうした支援があることをお伝えください。

- 相談内容:物資が欲しい、介助が必要など、どんなことでも構いません
- 受付時間:電話は10:00~18:00、FAXは24時間
- 申込方法:TEL、FAXにてお問い合わせください
- 主 催:被災地障がい者センターみやぎ
- 連絡先:被災地障がい者センターみやぎ  
〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1(CILたすけっと気付)  
TEL:022-746-8012、080-3303-3130、080-3303-3131  
FAX:022-248-6016  
みやぎ支援センター(協力団体)  
TEL:080-4373-6077、080-4373-6078  
FAX:022-306-4663

## 東日本大震災被災地支援(パソコン寄贈・貸出)プログラム

宮城、岩手、福島で被災した団体及び個人にリユースパソコンを無償で寄贈・貸出します。

- 対象団体:被災した非営利団体、教育機関に寄贈
- 対象個人:被災した障害者、高齢者(65歳以上)、子育て中の主婦に1年間貸出
- パソコン:ノートブック型及びデスクトップ型リユースパソコン Microsoft Windows XP Professional, Office2007 Personal, セキュリティソフト(キングソフト)をプリインストール
- 募集期間:2011年6月1日~2012年3月31日(予定)
- 連絡先:(特活)イー・エルダー東北支部  
TEL/FAX:022-796-8091  
E-mail:[tohoku@e-elder.jp](mailto:tohoku@e-elder.jp)  
URL:<http://www.e-elder.jp>

## (社)宮城県助産師会 東日本大震災母子支援事業

宮城県の助産師が被災した母子が温かく、おだやかに産後を過ごせるよう、宮城県復興への全国の願いをお受けし実施するものです。

- 事業内容:★妊産婦の助産院入院支援  
内容:助産院に無料で入院でき、赤ちゃんのお風呂や観察、母体復古、母乳育児に関しての支援  
対象:本人、または家族が被災された産婦の方  
その他事由により産後の休養が取れない産婦の方
- ★産後の家庭訪問、助産院における育児相談  
内容:赤ちゃんのお風呂、ママの身体チェックなど  
助産院における育児相談、母乳育児ケアの提供  
対象:本人、または家族が被災された方
- ★被災地・石巻における母子支援事業  
内容:助産院への入所無料サービス、産後の母子預かりサービス  
産後の家庭訪問サービス、助産院における母乳育児ケアサービス  
対象:石巻周辺および県外の被災妊産婦の方
- 実施期間:2012年5月14日(月)まで(石巻の事業は8月から)  
※石巻における母子支援事業については8月から実施予定
- 申込方法:下記連絡先までお問い合わせください  
(ほんだ母乳育児相談室(TEL:0225-83-3597)でも受付可)
- 主 催:一般社団法人 宮城県助産師会
- 連絡先:〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-7-48-101  
TEL:022-297-1551 FAX:022-349-8377  
E-mail:[sensentar@gmail.com](mailto:sensentar@gmail.com)  
URL:<http://www.midwife-miyagi.sakur.ne.jp/>

## 震災 心のケアグループ ~グループで癒しのときを~

「心が折れそう」で孤独感に負けてしまいそうなとき、「自分がいけなかつたからだ」と責めてしまふとき、「自分には何もできない」と無力さに打ちのめされるとき。こんな時だからこそ、話し合える仲間が必要です。

- 日 時:★仙台市  
毎週火曜日 1)14:30~15:30 2)19:00~20:00  
場所:広瀬通りのカフェ  
※どちらか都合のよい時間においでください  
※近日中に多賀城市、塩竈市等でもスタート予定です  
★個別カウンセリングも行っています  
震災の被害に遭われた方を最優先に行っています  
参加費:3,000円
- 参 加 費:無料(カフェでのドリンク等料金は別途必要)
- 定 員:各回10名(要事前問い合わせ)
- 主 催:はあとランド
- 連絡先:〒981-3622 黒川郡大和町もみじヶ丘2-38-9  
TEL:022-348-8262  
携帯:080-5225-7532(担当:佐藤)  
E-mail:[njpapa21@mailgoone.jp](mailto:njpapa21@mailgoone.jp)  
URL:<http://plazarakuten.co.jp/heartland2389/>

今年も開催します！

# NPOで高校生の夏ボラ体験



震の関係で、ほとんどの学校が休校となり、ライフラインや公共交通機関の復旧まで春休みが続いた学校もありました。その結果、休校した分の授業を夏休みの期間に振り替え、夏休み期間が一週間ほど短くなっている学校が多くなっています。例年、夏休みに高校生がNPOでボランティア体験をするプログラムを実施してきた（特

活）社の伝言板ゆるるは、今年も開催するべきか検討しましたが、こんな時こそボランティアに関心が出るのでは？という判断から例年通り「NPOで高校生の夏ボラ体験二〇一二」（以下、夏ボラ）を開催することにしました。

## 今年で九回目

三月十一日の発災後、ゆるるの事務局は十四日まで閉局し、十五日から一週間かけて、毎年夏ボラでお世話になつているNPOに電話やメールで安否確認や活動の状況など聞き、密に連絡を取っていました。どこも震災で活動が変わっていることから、果たしてNPOは受け入れてくれるのだろうかと、控え目に各団体に連絡したところ、自ら被災しながらも、発災時から地域の復興のために活動を続けていた団体が多く、「高校生を待つています！」とNPOから力強い返事がありました。

それから、過去に参加した高校生の出身校へも夏休みの時期や土日の催事など、聞き取りを行いました。震災のために、多くの高校は夏休みの開始が七月末から八月に変更となつており、今年度は八月のみの体験に決定。高校の先生方からは、「こんな時だからこそ、



▲昨年の大崎会場

生徒にはボランティア体験をしてもらいたい！」という声が届いています。そして今年も、河北新報社グループ十一社で作る社会貢献団体かほく「108」クラブが、共催することに決まりました。感謝。

## 実りある体験のために



▲体験先NPOと打合せ



▶体験先の皆さんと

夏ボラ体験は、ボランティアに行く前に、高校生にNPOやボランティアについてしっかりと理解してもらうために、事前学習会を開催します。夏ボラプログラムに参加するには、事前学習会の参加が必須条件です。「NPOとは？」「NPOでボランティアをするとはどういうことか」について、学びます。事前にNPOへの理解を深め

### NPOで 高校生の夏ボラ体験二〇一二

ゆるるの夏ボラを体験した高校生は、これまでに延べ一〇八六名。今年は百名の参加者を募集しています。ボランティア体験期間は、原則として三日間。NPOと体験する高校生同士とがお互い顔が見え、新しいつながりができるきっかけになるよう、そして、これから地域の担い手である高校生が、地元で活動するNPOに出会う機会、復興への歩み、自身の進む道をみつけ引きつかけになればと期待しています。

これまでに延べ一〇八六名。今年は百名の参加者を募集しています。ボランティア体験期間は、原則として三日間。NPOと体験する高校生同士とがお互い顔が見え、新しいつながりができるきっかけになるよう、そして、これから地域の担い手である高校生が、地元で活動するNPOに出会う機会、復興への歩み、自身の進む道をみつけ引きつかけになればと期待しています。

問い合わせ：(特活)社の伝言板ゆるる（連絡先は裏表紙をご覧ください）

# 「人と街と住まい」をつなぐ団体 事務室新入居団体の紹介



## ～ゆにふりみやぎ～



市さんのこんな思いがきっかけとなり、学友や社会人有志と一緒に活動を開始しました。伊藤さんは自身、先天性疾患による両下肢麻痺で、車イス生活と長い施設生活を体験したことから、外出することの嬉しさ、大切さを身をもって感じていたからです。団体名には「ゆにバーサルでパリアフリー」、「なまちをつくりたい」という意味が込められています。

「身体的な不自由を持つても、外に出て楽しみたい気持ちは健常者も障害者も同じ。障害の方たちが安心して外出できるよう、いろんな場所のバリ

みやぎNPOプラザの事務室に、六月から新しい団体「ゆにふりみやぎ」が入居しました。ゆにふりみやぎは、主にホームページや紙媒体での宮城・仙台のバリアフリー情報の提供、バリアフリー住宅に関する無料相談などを行っています。公共施設へのバリアフリー アドバイスも担当し、これまでに、せんだいメディアテークやクリネックステリアム、仙台空港など多くの施設建設の助言アドバイスを行つてきました。

代表の思い



【問合せ先】  
ゆにふりみやぎ  
E-mail: ufmiyag  
URL: <http://www.ufmiyagi.com>

昨年度、総務省地域ICT利活用広域連携事業として、全国のパリアフリー団体と共同で本ームページ「全国パリアフリー旅行情報※」の宮城県のサポート団体として活動を開始。十五年間の活動で培ってきた経験を生かし、宮城県内の宿泊施設や観光スポット、地下鉄やバスといった交通機関などのパリアフリーア情報の調査・発信を行っています。「重要なのは、パリアフリーアの整った場所を紹介するだけではなく、障害者の方が行つてみたいと思うような場所のパリアフリー状況を伝えること」と伊藤さん。今年度も引き続き県内観光地のパリアフリー状況を取材・調査しているほか、被災

「全国バラエティ  
旅行情報」  
(<http://www.bariuri.jp/>)

地域での障害者のための支援活動を行っています。

■NPO法人に認証されな団体 (2011年5月11日～6月10日まで)

団体名	所在地	活動内容	受理日
仙台みらい子供塾	仙台市 宮城野区	教育事業	5/17
浦戸あいらんど 俱楽部	塩竈市	浦戸諸島内の耕作放棄地を 使用した農地の再整備等	5/16
子育て応援団 ひよこ	名取市	地域で活動する子育て支援団のネ ットワーク拠点としての役割を担い, 情報提供、活動支援を行う等	5/13
スマイル劇団	仙台市 宮城野区	認知症の普及にかかわること	5/20
EARTH &ネット	仙台市 太白区	生活困窮時の生活物資提供な どの生活相談・支援事業等	5/25
おひさまキッズ	仙台市 宮城野区	託児事業や子育てイベント等	6/10

#### ■NPO法人の設立を新しく申請した団体

団体名	所在地	活動内容	受理日
みちのく復興の会	仙台市太白区	被災者及びその地域社会に対する支援	5/13
料理寺子屋 一滴	岩沼市	日本料理の講習会・実技指導	5/30
愛宮城	仙台市青葉区	被災地関連製品の流通経路開拓事業	6/10
日本ライフフィットサービス協会	仙台市若林区	被災地支援事業、市民活動団体支援事業等	6/10

(2011年5月11日～6月10日申請分)

宮城県のNPO法人数 593団体

(2011年6月10日現在数)

※解散、所轄庁変更、認証取消、撤回した団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。  
**みやぎNPO情報ネット**  
<http://www.miagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ ☎983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533  
E-mail:npo@miyagi-npo.or.jp

# 今月の 助成金情報

## 平成23年度 社会福祉振興助成事業(第2次)

- 助成対象: 以下の事業であって東日本大震災で被災された方等を支援する事業に重点を置いて採択します  
(1)福祉活動支援事業  
(2)社会参加促進活動支援事業  
(3)地域連携活動支援事業  
(4)全国的・広域的ネットワーク活動支援事業
- 対象団体: 特定非営利活動法人、社会福祉法人、医療法人、特別民法法人、社団法人、財団法人、その他社会福祉の振興に寄与する事業を行う法人若しくは団体
- 助成金額: (1)50万円~300万円  
(2)50万円以上  
(3)50万円~700万円  
(4)50万円以上  
※「東日本大震災で被災された方等を支援する事業」を行う場合は、当機構と助成限度額について協議することができます
- 助成期間: 平成24年3月31日までに完了する事業
- 募集締切: 7月15日(金) 必着
- 連絡先: 独立行政法人 福祉医療機構 助成事業部 助成振興課  
〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス9階  
TEL:03-3438-9945-9946 FAX:03-3438-0218  
E-mail:wamjyosei@wam.go.jp

## 東北関東大震災ボランティア活動基金

- 助成対象: (1)被災地復興・再生を目的とした事業実施に必要な経費  
(2)その他、上記(1)の目的を達成するために必要な経費  
※災害弱者の救済や被災者のメンタルケア、中長期的な復興支援の活動は優先的に助成
- 対象団体: 東北関東大震災(東日本大震災)で被災した地域の救援・復興支援目的とした活動を行う被災地域もしくは新潟県内のNPO等。法人格の有無は問わず、草の根の任意団体も可
- 助成金額: (1)1回の募集につき1団体上限20万円  
(1団体3回、60万円まで応募可)  
(2)他の助成金や自己資金との併用も可、申請書にその旨を明記  
※総額500万円程度
- 助成期間: 平成23年3月11日以降または今後実施予定の事業
- 募集締切: 第2次募集 6月15日(水)~7月25日(月)  
第3次募集 8月下旬~9月下旬(予定)
- 振り込み先: 第四銀行 高田営業部 普通2020613  
特定非営利活動法人くびき野NPOサポートセンター東北関東大震災ボランティア活動基金
- 連絡先: (特活)新潟NPO協会  
〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2  
新潟ユニゾンプラザ1階  
TEL:025-280-8750 FAX:025-281-0014  
E-mail:info@nan-web.org  
※この基金は、県内中間支援組織3団体が連携し運営しています  
<http://blog.canpan.info/tohoku-v/>

## 2011年度 公益信託 大成建設自然・歴史環境基金

- 助成対象: 国内ならびに開発途上国での自然環境の保全・活用、または歴史的建造物等の保存・活用にかかる活動または研究
- 対象団体: 国内に拠点を置き、自然環境・歴史環境の保全・保存・活用のために市民活動や研究を行う営利を目的としない団体等
- 助成金額: 助成金総額1,500万円程度、助成件数20件程度
- 助成期間: 原則として助成金振込日より1年間の間に行われる事業
- 募集締切: 7月29日(金)
- 連絡先: 公益信託 大成建設自然・歴史環境基金 事務局  
〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1  
みずほ信託銀行株式会社 個人営業推進部 福祉信託係  
TEL:03-3274-9210 FAX:03-3274-9504  
E-mail:hiroichi.aono@mizuho-tb.co.jp

## 2011年 ろうきん地域貢献ファンド

- 助成対象: 以下の6分野での活動  
(1)福祉 (2)子ども・文化・スポーツ  
(3)環境保全 (4)まちづくり  
(5)国際協力 (6)人権・平和・男女共同参画
- 対象団体: 宮城県内を主たる活動の場としているボランティアグループやNPO  
備品購入助成については、活動を始めて1年以上が経過し、一定の社会的成果を生んでいること(事業助成については、活動が1年未満の団体でも可)
- 助成金額: 【Aコース】事業助成  
10~20万円(1万円単位)(助成数:5~6団体程度)  
【Bコース】備品購入助成  
上限10万円(助成数:5団体程度)
- 助成期間: 2012年3月末までに終了する活動
- 募集締切: 7月31日(日) 消印有効
- 連絡先: (特活)せんだい・みやぎNPOセンター  
ろうきん地域貢献ファンド事務局  
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4階  
TEL:022-264-1281(平日9:30~18:30)  
FAX:022-264-1209  
E-mail:minmin@minmin.org

## 平成23年度 みやぎNPO夢ファンド

- プログラム: A)ステップアップ支援プログラム  
県内のモデルケースへの発展が期待される公益性の高い事業  
B)組織開発(人材育成を含む)支援プログラム  
組織づくりや人材育成・情報発信の体制の強化  
C)スタートアップ支援プログラム  
新規事業の立ち上げや、これから活動を始めるNPO  
※震災復興支援事業も応募できます
- 対象団体: 営利を目的とせず、公益的・社会的な活動を継続的に行なう宮城県内のNPO  
※活動の分野、法人格の有無などは問いません  
※活動の対象が宮城県外(外国等)であっても応募可能
- 助成金額: A)100万円  
B)30万円以内(1万円単位・下限20万円)  
C)30万円以内(1万円単位・下限15万円)  
※A)2団体、B,C)合わせて8団体程度に助成
- 助成期間: 平成24年3月末までにすべてが終了する事業
- 募集締切: A)7月24日(日) B,C)8月21日(日) 共に必着
- 連絡先: みやぎNPO夢ファンド事務局  
(特活)せんだい・みやぎNPOセンター内  
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4階  
TEL:022-264-1281 FAX:022-264-1209  
E-mail:minmin@minmin.org

7/17 第22回健康講座～メンタルリソーストローム  
「自分で出来る予防と改善」

- 日 時:7月17日(日) 13:30~14:50  
●会 場:みやぎNPOプラザ 第2会議室  
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)  
●講 師:小林晴氏(健康管理士)  
●対 象:健康づくりに関心のある方、老若男女問わず  
どなたでもご参加ください  
●参 加 費:300円(当日、受付にてお支払いください)  
●主 催:(特活)宮城県健康管理士会  
●連 絡 先:(代表:太田)TEL:022-281-2388  
FAX:022-281-0827

7/  
24 I Love Nunonapu

東日本大震災で布ナプキンが必要だったけれども、手に入らなかったということはありませんでしたか？消耗品は常にストックが必要です。衣服のように洗って使えるものはその心配がありません。お洗濯ができないような場合に、手持ちのものでナプキンを簡単に作る方法や使い方をこの機会に覚えておきませんか。

- 日 時:7月24日(日) 10:00~11:30
  - 場 所:みやぎNPOプラザ 第3会議室  
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
  - 定 員:10名
  - 参加費:200円(高校生以下 無料)  
※材料費別途700円ブレーン+ホルダー+専用洗剤
  - 持 ち 物:トレーナーなど捨てても良い、  
もう着ない木綿の洋服1枚  
※裁縫道具は用意しますが、自分のものを使いたい方はご持参ください
  - 託 児:なし ※和室ですので  
小さいお子様連れでも構いません
  - 申込方法:FAX、メール、電話にて申込
  - 申込締切:7月16日(土)
  - 主 催:布ナブ普及協会
  - 連絡先:〒982-0027 仙台市太白区大崎町1-15  
TEL:022-248-2863(12:00~18:00)  
FAX:022-248-2864  
E-mail:[napu2@mail.goo.ne.jp](mailto:napu2@mail.goo.ne.jp)  
URL:<http://blog.goo.ne.jp/napu2>

7/26 親子で市場を探検しよう！

お店にならんでいるお魚はどこから来るの？どのくらいの種類の魚が取引されているの？  
取引量が東北最大の仙台中央卸売市場でセリの様子やまぐろの解体を見学します。

- 日 時:7月26日(火) 5:50~(解散10:00頃)

- 場 所:仙台市中央卸売市場 入り口集合  
(係が案内します)
  - 対 象:小学生以上の親子
  - 定 員:15組30名
  - 参 加 費:1,500円(親1人、子ども1人)  
※朝食は「市場特製ちらし」
  - 服 装:汚れてもいい服、長靴
  - 持 ち 物:筆記用具
  - 申込締切:7月15日(金)
  - 申込方法:氏名、年齢、住所、電話番号を事務局まで電話、FAX、  
メールで申込
  - 主 催:食育NPO「おむすび」
  - 連 絡 先:TEL&FAX:022-285-0824(担当:木村)  
E-mail:tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp  
(食育NPO「おむすび」)

7/27 NPO広報のためのデザインレイアウト講座

NPOや市民活動団体の広報に印刷媒体での情報発信は欠かせません。しっかり分かりやすく、親しみやすく伝えるためのデザイン・レイアウトを学んでみませんか。基礎からの分かりやすい講座です。

- 日 時:7月27日(水) 19:00～20:30
  - 会 場:仙台市太白区中央市民センター 第2小会議室
  - 講 師:真山正太氏(グラフィックデザイナー)
  - 定員:15名(事前申込み先着順)
  - 受講料:1,000円
  - 主 催:NPOメディアデザインサポート
  - 連絡先:事務局(担当:千葉)  
〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11  
朝日プラザ北一番丁1階  
TEL:090-3049-0613 FAX:022-224-5308  
E-mail:npo@md-sendai.com

7/28 NPOマネジメント講座(2)  
「理事会の運営に悩む理事のための講座」

NPOの執行部である理事会。経験豊富な理事は、それぞれのNPOの貴重な“財産”です。理事会のやり方を見直し、もっと団体に貢献してもらいましょう！

- 日 時:7月28日(木) 19:00~21:00
  - 講 師:大久保朝江((特活)杜の伝言版ゆるる代表理事)
  - 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
  - 対 象:NPO法人の代表や理事、これからNPO法人化を考えている市民活動団体の代表など
  - 定 員:20名(申込先着順)
  - 参 加 費:800円
  - 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
  - 運営・実施:(特活)杜の伝言版ゆるる
  - 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧下さい)

ありがとうございます

#### 今月の新入会員・継続会員 (2011.6.16現在)敬称略

- 《正会員36名》  
★大河原町 (特活) ほっとあい  
★仙台市 (株) 小松写真印刷  
(財) 愛知県一福徳振興会  
(社団) 東北福祉会  
生活協同組合あいコープみ  
(特活) あかねグループ  
(特活) センナーリーの子ども劇場  
(特活) ゆうあんどあい  
石野 龍太・若生 勉

- 《情報会員77名》  
★仙台市 (公益社団)認知症の人と家族の会 宮城県支部  
(財團法人)せんない男女共同参画財団  
(社福)仙台ピーナス会  
(特活)全国コミュニティーライフサポートセンター  
安部 光代 武山 広美  
佐藤 理絵 白川 由利枝  
(特活)ぼっぐの森  
郡 和子 鈴木 啓子 高橋 寿  
★石巻市 西公園ブレーパークの会 門部 正彦

会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人・NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

社の伝言板 ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊 ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として日々運営されています。

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます

郵便  
振替口座  
加入者名  
口座番号

林の行農板ゆえに 2012. July. 16-172

# information

6月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ●●● ボランティア募集 ●●●

### あそびのボランティア大募集!!

ドイツ・フランス・日本などのテーブルゲームで、こどもから大人まで、みんなで楽しく遊ぶボランティアです。経験も知識も不要です。楽しそう！と思ったあなたからのご連絡をお待ちしています！

- 日 時:7月9日(土) 13:00~16:30  
場所:若林区中央児童館  
(仙台市若林区保春院前丁3-4)
- 7月30日(土) 9:00~12:30  
場所:東部市民センター  
(仙台市宮城野区平成1-3-27)
- 8月21日(日) 11:30~17:00  
場所:仙台国際センター  
(仙台市青葉区青葉山無番地)

※必ず、事前にご連絡ください

※いずれか1回のボランティア参加でも可

※会場までの地図が必要なときは連絡時にその旨お伝え下さい

- 待 遇:謝礼、交通費、昼食代等の支給なし
- 申込方法:電話、メールにて申込
- 主 催:こりれいす(もうひとつのこどもとおとなりリレーションズ)
- 連絡先:(担当:須藤) TEL:070-5470-6355  
E-mail:konreizu@willcom.com

## ●●● お知らせ ●●●

### 第19回福祉キャラバン隊出動！

「ここに手すりがあれば安心なのに」「家具の転倒防止をしておきたい」など、その悩みを建築士がお引き受けします！！

- 実施内容:★家具転倒防止金具の取り付け(3カ所程度)  
★家庭用火災警報機の取り付け  
★手すりの取り付け  
(1戸につき総長さ4m、3カ所程度)
- 実施日時:9月10日(土)  
※受付後、取付け場所等の事前調査にお伺いします
- 対 象:仙台市にお住まいの60歳以上の方、障害をお持ちの方の住宅
- 実施戸数:30戸(早めに申込ください)
- 費 用:材料費のみ実費負担(取り付け工事料は無料、ボランティアです)
- 申込方法:下記連絡先までお問合せ下さい
- 申込受付:7月1日(金)~7月21日(木)
- 主 催:(社)宮城県建築士会
- 連絡先:(社)宮城県建築士会仙台支部  
HPあり TEL:022-264-1215 (受付時間 平日9:10~16:45)  
URL:<http://www.kenchikushikai.net/>

## ●●● 講座・イベント ●●●

### オムツフィッター3級研修in SENDAI

7/9 事前説明会&下着とおむつのイチオシ! 合同説明会

いまや沢山の大人用おむつが店頭に並んでいますが、必要になったときや助言を求められたときに、適切に選ぶことができるでしょうか？メーカーから専門家の方から、おむつ業界の最前線の商品知識をお聞きする機会を設けました。それぞれ特色のある6社のおむつの話を一度に聞けるチャンスです！

- 日 時:7月9日(土) 10:20~12:30
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第一議室  
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 参 加 費:1人1,000円
- 申込方法:氏名、住所、連絡先、メールアドレスを明記の上、電話、FAX、メールにて事前に申込
- 主 催:クーシュの会
- 連絡先:「下着とおむつの情報館」  
HPあり 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
みやぎNPOプラザ1階  
TEL:022-344-6788  
E-mail:couches@miyagi-npo.gr.jp  
URL:<http://couches.jugem.jp/>

### NPOのための会計・税務講座(2)

7/13 信頼されるNPOになる！お金の管理の仕組み

- 日 時:7月13日(水) 13:30~16:30
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2議室
- 講 師:成田由加里氏(公認会計士、税理士)
- 対 象:市民活動団体の代表・スタッフ、会計担当など
- 定 員:20名(申込先着順)
- 参 加 費:1,000円
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 運営・実施:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧下さい)

### 第33回公開講座

7/16 「青少年と向き合うこころの担任」

大震災の後、私達があらためて感じたことは家族の絆、そして人と人が心に寄り添い、ともに歩むこと。「心の担任」という言葉の意味とは…。

どなたでも参加できます。今からあなたにもできること、見つけにきませんか？

- 日 時:7月16日(土)13:30~15:30(受付13:00~)
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター6F  
セミナーホール(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師:阿部芳吉氏(宮城教育大学副学長)
- 対 象:どなたでも
- 参 加 費:無料
- 申込方法:不要、直接会場にお越し下さい
- 主 催:仙台市カウンセリング研究会
- 連絡先:(担当:佐藤)  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3  
市民活動サポートセンター内レターケース49番  
TEL/FAX:022-247-2730



杜の伝言板

# ボランティア 市民活動 情報

ボランティア  
お知らせ  
イベント  
助成金

募集はこちらから

The 8th Partnership Award 2011

## 社会の変化を創発するNPOと 企業の協働事業を募集します 第8回パートナーシップ大賞

NPOと企業のパートナーシップにより、社会や地域の課題を解決し、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目的として、2002年から始まった「パートナーシップ大賞」。今回で8回目を迎えます。

この度の東日本大震災を受け、今回のパートナーシップ大賞開催についても、その是非、開催方法等について検討を重ねてまいりました。そして、こんな時だからこそ、しっかりとした協働の事例を集め、広く知らせていくという私たち本来の事業を推進すべきという結論に至りました。今回は、パートナーシップ大賞と並行して、NPOと企業が協働で行っている救援・復興等支援事業についても積極的に情報収集し、発信していきます。

募集  
期間

2011年

6/1(水)

7/31(日) 18時  
必着

各賞

### 【パートナーシップ大賞グランプリ】

NPOに記念盾と副賞30万円、企業には記念盾を贈呈  
NPOと企業の協働の推進に継めて高く貢献し、顕彰するにふさわしい協働事業

### 【パートナーシップ賞5事業】

NPOに記念盾と副賞10万円、企業には記念盾を贈呈  
NPOと企業の協働の推進に高く貢献し、顕彰するにふさわしい協働事業

対象となる事業

日本に所在するNPO(法人格の有無不問、以下同じ)と企業の協働事業  
※応募条件、応募方法の詳細については下記ホームページをご覧ください。

応募・お問合せ

特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)

「パートナーシップ大賞 募集係」

〒464-0067 名古屋市千種区池下1-11-21 ファースト池下ビル4F

TEL:052-762-0401 FAX:052-762-0407 URL:<http://www.psc.or.jp>E-mail:[info@psc.or.jp](mailto:info@psc.or.jp)

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

## 総会&復興支援活動報告会のおしらせ

平成23年

7/16(土)

会場:みやぎNPOプラザ

第9回通常総会 14:00~15:30

正会員の皆様のご出席をお願いします。

なお、議決権は有りませんが、賛助及び情報会員の皆様も  
オブザーバーとして参加ができます。

3.11 被災したNPOの復興に向けて 15:45~17:00

被災NPO復興支援会議の各団体からの報告

杜の伝言板ゆるるは、4月、高齢者及び障害者支援事業を実施しているNPOのネットワーク団体と協働でNPOの被災状況を調査しました。被災から4ヶ月が過ぎた今、NPOはどのように復興に向かっているのか、ゆるるの取り組みとそれぞれの団体からこれまでの動きを話していただきます。

参加無料 どなたでも参加できます。

問合せ

NPO法人杜の伝言板ゆるる

TEL:022-791-9323

e-mail:[npo@yururu.com](mailto:npo@yururu.com)

杜の伝言板

発行:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区福岡3-11-6 コーポラス島田B6

TEL 022-791-9323 FAX 022-791-9327

E-mail [npo@yururu.com](mailto:npo@yururu.com) URL <http://www.yururu.com>

編集:大久保 朝江

表紙イラスト:

デザイン:ITO

発行日:2011年7月1日

発行部数:8,000部

印刷:コマツ・コーポレーション

